

令和6年度小学校出前講座の取組について

■ 出前講座概要

都市交通課では、過度にマイカーに頼る生活から、公共交通などを適度に利用する生活への転換を促す「モビリティマネジメント」の取組の一環として、電車、バス、クルマ、自転車などの**いろいろな乗り物を、目的や状況に応じてかしく使い分ける視点を学ぶ**ことをねらいとする**3種類の出前講座**を、平成24年度から実施しています。

プログラム	所要時間	内容
環境教育 ～生活を見直す機会をつくる～	45分～ 90分程度	目的地への移動手段を、「環境」、「時間」、「経済性」など様々な要因をふまえて最適なものを考え、生活を見直す機会をつくります。グループワークと個人ワークにより、「人の意見を聞く力」や「自ら考える力」を育てます。
福祉教育 ～乗り物のバリアフリーを体験する～	90分～ 135分程度	ノンステップバスやUD（ユニバーサルデザイン）タクシーが学校へ出張し、実際の車両を使って、車いす使用者や視覚障害者、高齢者の乗降や介助を疑似体験します。また、バスのニーリング（乗降しやすいように車高を下げる機能）の見学や、バス・タクシーの運転手から乗り方や乗車マナーを学びます。
キャリア教育 ～自らの選択と社会への影響を学ぶ～	45分程度	まちづくりや交通分野の従事者から話を聞き、児童が働くことの意義を考え、生き方について学習する機会とします。

■ 令和6年度実績

今年度は延べ14校にて実施。

No.	実施日	学校名	区	学年	参加人数	内容	協力
1	7/2	榎が丘小学校	青葉	6	88	その他（※1）	—
2	8/28	瀬戸ヶ谷小学校	保土ヶ谷	5	79	キャリア（※2）	—
3	9/26	日吉南小学校	港北	4	135	福祉	東急バス
4	10/8	本郷小学校	栄	6	95	キャリア	—
5	10/31	平戸台小学校	戸塚	4	43	福祉	神奈川中央交通
6	11/1	六浦小学校	金沢	4	64	福祉	京浜急行バス
7	11/6	瀬ヶ崎小学校	金沢	4	53	福祉	京浜急行バス
8	11/8	東品濃小学校	戸塚	4	79	キャリア	—
9	11/15	日吉南小学校	港北	6	123	キャリア	—
10	11/27	あざみ野第一小学校	青葉	4	110	福祉（※3）	小田急バス
11	12/9	新井小学校	保土ヶ谷	6	48	福祉	横浜市交通局
12	12/12	境木小学校	戸塚	4	76	福祉	日本交通横浜 神奈川運輸支局
13	2/7	桂小学校	青葉	5	88	福祉	神奈川都市交通 神奈川運輸支局
14	3/13	常盤台小学校	保土ヶ谷	4	27	環境	—

※1：青葉区における、連節バス導入の取組の周知とともに実施

※2：生活交通バス路線維持制度の対象路線の利用啓発とともに実施

※3：青葉区における、生活サービスと連携した新たな公共交通サービス実証実験「あおばGO」の周知とともに実施

■ 実施校数の推移

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
実施校数	1	3	3	4	9	9	8	8	4	10	12	18	14
累計	1	4	7	11	20	29	37	45	49	59	71	89	103

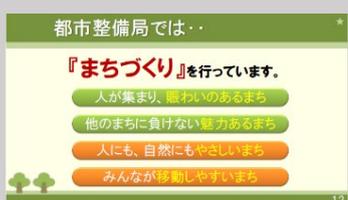
■ 実施の様子



体育館での座学授業



教室での座学授業



授業資料（一例）



ノンステップバス乗降体験



UD タクシー乗降体験

地域支え合いドライバー講習について

横浜市内では、日常生活の身近な移動のため、地域の支え合いによる移動支援（ボランティア送迎や福祉有償運送）が市内各地で行われています。

この移動支援は、バス等の公共交通の利用が難しい地域では、大きな役割を担っていますが、ドライバー不足が課題の一つとなっています。

横浜市では、地域のみなさまにこの活動を知っていただくとともに、「地域支え合いドライバー」となるために必要な知識や技術を学ぶ講座を開催しました。

1 令和6年度開催概要（共催：健康福祉局福祉保健課・社会福祉協議会・地域ケアプラザ）

- ① 令和6年7月22・23日 戸塚区 幸和建设工業(株)会議室
- ② 令和6年11月19・20日 都筑区 都筑区役所

2 参加者

- ① 4名（うち福祉有償運送団体所属者1名）
- ② 34名（うち福祉有償運送団体所属者5名）

3 講習内容

国土交通大臣認定講習

- ・交通空白地有償運送運転者講習
- ・福祉有償運送運転者講習・セダン等運転者講習

4 受講者の声（受講後アンケート）

- ・ボラバス会で添乗員として活動していましたが、受講後から運転の担当をするようになりました。
- ・乗客が安心できるようにスピード・カーブ・声掛けなど、一層気を付けるようになりました。
- ・本講習を受講してから、福祉的視点をもった利用者にやさしい運転を心がけています。
- ・福祉有償運送団体に所属していますが、ボランティアにも参加したいと考えるようになりました。
- ・現在は参加できていませんが、定年後に介護タクシーやボランティアバスの活動を行いたいです。



▲講義（移動サービス、法律、制度、接遇、介助等）



▲実習（運転実習、福祉車両操作等）

UD タクシー乗車体験会 報告(2024 年度) 11/17

=====

主催 認定 NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
 共催 西区移動情報センター、横浜市健康福祉局 障害自立支援課
 後援 関東運輸局 神奈川運輸支局
 協力 神奈川県タクシー協会横浜支部、神奈川トヨタ自動車株式会社
 株式会社テレビ神奈川、西区重心ネット

=====



1. 開催の趣旨・目的

一人での移動・外出が困難な人や家族にとって、外出の手段は家族の送迎など極めて狭い選択肢しかありません。ユニバーサルデザイン化された公共交通としてのタクシー、自家用有償旅客運送に位置付けられた NPO などによる福祉有償運送は移動の選択肢になれるのか。大型車いすでの乗車やお一人での乗車体験をしていただくことで、不安を解消し、安心して外出いただける機会が広がればと思います。乗車体験と同時に、安全な車両固定についても共有し、一層の安心につなげます。

2. 実施場所と日時

西区会場
 日時 2024 年 11 月 17 日(日) 13~16時
 場所 西区 tvk ハウジングプラザ横浜(西区西平沼町 6-1)



tvk ハウジングプラザ横浜会場

3. 会場の様子

●11/17 tvk ハウジングプラザ横浜 会場

一般の方の理解も深めたいという趣旨で、障害関連の施設や特別支援学校という環境を避けて、多くの方の来場を見込める tvk ハウジングプラザ横浜さんに相談し、会場を提供していただきました。夏を思わせる晴天の中、多くの来場がありました。

実際、一般の来場者には UD タクシーが車いす対応もできることなどは浸透しておらず、お子さん連れのご家族がベビーカーでの乗車を試されたり、高齢者の方の試走もあり、いろいろな方の参加、また、現状を知らせる、という目的も達成できました。

tvk ハウジングプラザ横浜会場 案内板を設置して一般客にもお知らせしました



今回は大きなバギーを使用される重症心身障がいがある方の来場が圧倒的に多く、UD タクシーがご自身が使用されている車いすとマッチするのかを確かめていただくという、当初の目的を十分に果たすことができました。28家族が参加されたことは、共催・協力の西区移動情報センターや重心ネットさんなどが積極的に広報に努めてくださったことによるものです。



大型のバギーの方も多く来場がありました

多くの方に参加いただけたということは、多くの課題も見えたということにつながります。来場者のうち車いすのままでは乗車できないことが分かったという方も少なくありませんでした。車と車いすのミスマッチということも考えられ、自動車製造会社や車いす製作会社との連携が不可欠なことも明確になりました。



左から JAPAN TAXI シエンタ ホンダ N-box みなさん順番に乗車体験

【車両とのマッチングに見える課題】

- ・車いすが一般的な形状の車イスより高さがあり、乗り込めない(座面の高いタイプ、車いすの大型化などに起因)
- ・スライド式スロープの荷重制限(200kg、300kg)により乗り込めない
電動車いすは車いす自体が100kgを超え、当日の最高は165kgのスウェーデン製の電動車いすでした
- ・座位が保てない方の場合、車いすの傾斜が大きく長くなるため、車いすの長さに対して車両の奥行きが足りない。軽の福祉車両は比較的車内が大きいですが、ホンダ N-box は前輪の固定位置が決まっているため応用が利かなかった。

※上記のような状況からご家族からも下記の意見が寄せられました。

【ご家族・関係者からの意見】

- ・車いすを分解するとタクシーに乗れる、など車いすをつくる段階から構造を考える必要あり。
ご本人の車にあった車いすをつくるが、社会に合わせる必要もあるかと思った。
- ・パルモビール社(スウェーデン)の車いすで来ましたが、乗れませんでした。(車いす165kg)
すべての車いすを乗せることは難しいと思うが「全体の80%を目指し、60%は乗れる」車両であってほしい。
- ・バギーが大きく長さがあるため、車の長さが必要ですが、今後対応できる車は作られるか？

・JAPAN TAXI に乗れるとわかって安心、横から乗るので街中では乗車のスペースの確保が難しい。
車いすを選ぶとき、考えることが必要

以上

また、来場者には車両乗車時の車いす固定についても情報を提供し、より安全な乗車、快適な乗車となるよう助言を行いました。今後、車いす製作の段階で車両乗車を前提とした固定のための装備が不可欠ということ、介助側には安全を担保するための固定方法の見極めについても知識と共有が重要と感じています。

多く見られたのは、シートベルトの不適切な使用(体に密着できていないなど)、車いすにテーブルを装備したままの車両乗車(テーブルが腹部を圧迫する危険がある)など、安全に関する情報発信を続けていきます。

上記、今後の課題として、製造メーカーにも共有したいと思います。

有意義な乗車体験会となりました。来場いただいた、また、協力いただきました皆様に感謝します。



電動車いすの方もお試し中



はじめて見た車内



バギー、乗れる？乗れた！

➤ 参加者数 84人 (かれんタクシーに登録された方2名 12/01現在)

内訳	人数	備考
当事者(うち家族)	76人(家族は内 48人)	身体障がい児者、知的障がい児とその家族など
相談員、ヘルパー等	3人	
移動情報センターなど	3人	西区、港北区
その他	2人	一般客など
計	84人	

➤ 車両の提供

トヨタ JPNTAXI、シエンタ 計2台(神奈川トヨタ自動車株式会社)

ホンダ・N-box 軽福祉車両(NPO 法人総ぐるみ福祉の会)

➤ 試走車両の提供・協力 三和交通株式会社

➤ アンケートより

・JAPANTAXI、シエンタ2台に乗れました。落ち着いて乗れました。乗り心地良かった。

・移動情報センターは知らなかったが、現在ケアマネがついているため困っていることはない。(保土ヶ谷区在住)

・いろんな車の機能があって比べて自分に合ったものを選んでよいと思った。周知していきたい。

- ・体験できてよかったです。(磯子の社協にお世話になっている)
- ・自家用車が福祉車両なので、ふだんはほぼタクシーを使わないのですが、急に必要になったときに困らないだけのご説明と体験をすることができました。
- ・親が運転できなくなった時を考えて来た。横乗りで前向きに回転して乗れました。3台とも試乗してみました
が、軽の福祉車が一番乗りやすかった。
- ・一人で乗れました。よかったです。
- ・予約の仕方が楽だと利用しやすい
- ・説明が聞けて、タクシーを見せていただき、ありがとうございました。

